

# ボランティアネット通信

2021 年版

NPO 法人

ボランティアネット

茨城県古河市水海三〇一九

Tel 0280-23-1441

090-3097-4640

Fax 0280-23-1446

他地域からの支援や、安

全な地域への避難という手段  
が取れない現在、各国・各地  
域・各個人が、確固たる対策  
を求められています。

新型コロナウイルス感染  
症が世界を席巻したこの  
一年、関連する諸問題によつ  
て被害を受けられたすべて  
の皆様は、心よりお見舞い申  
し上げます。

これまでの災害と違い、今  
回の新型コロナウイルスはパンデミ  
ック、すなわち全世界が被災  
地となっています

日本では「不要・不急の外  
出・行動の自粛」のもと、ワ  
クチン接種などによる集団免  
疫取得までしのぐという戦略  
で対応していますが、問題は  
山積しています。



しかし「不要・不急の外  
出・行動の自粛」を求めら  
れているということは、  
「自分にとって必要なこ  
と、必ず早急にしなければ  
ならないこととは、何か」  
を問われている、とも言え  
ましょう。

必要なこととは？  
必要にすべきこととは？  
それを問いながら、私た  
ちは今日も歩み続けます。

## 新型コロナウイルス感染症ならびに

### 関連する諸問題の被害を受けた皆様に

### 心よりお見舞い申し上げます



# 今年の活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛もあり、あまり大規模な活動はできませんでした。

しかしその中でも、細心の注意を払った活動は続けてまいりました。

二〇二〇年八月一日

## 熊本豪雨支援

令和二年七月の豪雨で被害を受けた熊本の方々に、お見舞いの支援物資を送りました。

時節柄、消毒用アルコールやティッシュ等を大量に準備し、五百箱の段ボールに詰めて配布しました。



坂東市で活動している生涯児童支援団体「おとつぷ」で

二〇二〇年十月九日

## 坂東市児童支援



寺院集会所で、段ボールに物資を積みこむ

放課後デイサービス活動の支援をしました。

食育体験の一環として提供した、キッチンカーによるラーメンは、子供たちに大人気でした。

二〇二二年三月十一日

## 被災地をめぐる

東日本大震災から、ちょうど十年を迎えるこの日。私たちはこの十年を振り返るため、各地を巡ってきました。



宮城・南三陸町の防災庁舎遺構



宮城・石巻市雄勝の雄勝小学校遺構

福島県双葉郡、宮城県南三陸町、石巻市雄勝……。十年という年月は、あらゆるものを変化させます。しかしその中にも、変わらないものが見えてきます。



宮城・石巻市の雄勝地区震災慰霊公園モニュメント

「十年前の三月も、今の三月も、私にとっては同じです。互いに助け合い、励まし合い、健康に気を付けながら、海と共に生きる。それだけです」  
雄勝水浜で、共に十年間活動してきた方の言葉です。  
「違うのは、NPOの皆さんと一緒に過ごせたこと。亡くなった皆さんには悪いけど、楽しい十年でした」  
この笑顔の言葉に、我々はとても温かい気持ちにさせられました。



児童支援団体「おとつぷ」が常総市で使用している活動拠点「ゆめつぷ」で、支援活動をしてみました。  
六年前の大水害で、この近辺でラーメンの炊き出しをしたことを子供たちに話すと、水害を知らない子供たちもいて、驚いていました。

二〇二二年五月四日  
常総市児童支援

## 正会員・賛助会員・寄付者 (敬称略・順不同)

(期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

Studio-Pop hair 檜山達也、秋津 秀樹、葦原 由美子、阿弥陀寺、荒川 保、飯貝 宗淳、飯塚 久江、池田 幸裕、居酒屋 鶴、石川 真樹、伊藤 賢、伊藤 みちる、今泉 温資、岩城 芳文、岩松 知也、因宗寺 柏女 有教、梅寿 光殊、雲国寺、円鏡寺、圓光寺、大塚 展彦、小田 俊彦、柿沼 正男、加藤 誠、檉 歩、菊池 弘昭、狐野 やよい、木下 彰子、聴法寺、桑島 かおり、桑原 正信、顕正寺、光照寺、光明寺 小林 尚樹、光明寺 三浦 大悟、古賀 千代子、古賀 美津子、小島 森一、狛一、澤田 恵子、正應寺 佐々木 誠正、正覚寺 山吹 照久、勝願寺 井上 証、正行寺、常照寺、浄真寺 前田 義朗、浄善寺、勝善寺 井上 孝昌、正蔵寺、聖徳寺、常福寺 八田 裕生、乗満寺 遠藤 賢順、真照寺、真福寺 秦 康昭、須賀 力、西岸寺 友松 雅英、税理士法人サクセス 桑原 正信、専行寺 平松 正信、専勝寺 碧海 宏、専西寺 青樹 潤哉、(財)全日本仏教会、宗泉寺 担保 立子、相馬 法道、諦聴寺、田上 翼、託法寺、武部 勝義、玉寄 富仁枝、長願寺、通覚寺、塚寄 洋子、土田 慎二、等覺寺 小田 昭彦、東京四組 佐々木 誠信、徳因寺 稲垣 直来、徳蔵寺、中村 由美子、成澤漁業、西蓮寺 白山 勝久、延岡 潤照、橋本 コノミ、橋本 はる子、橋本 唯彰、秦 秀人、服部 吉高、坂東 性悦、東出 睦治、樋崎 菜々、平山 範一、深栖 将稔、藤津 裕子、藤場 芳子、法雲寺、法善寺、堀 秀隆、本誓寺、本多 雅人、増田 せつ子、松野 祐、松本 きみ子、見義 智証、水谷 豊、光林 忠明、妙安寺(一ノ谷)、妙安寺(みむら)、明願寺 久保山 善友、妙徳寺、明福寺、梁河 文昌、山名 広隆、山中 なつ、唯信寺 央戸 将、横田 洋、吉田 幸代、吉弘 祐子、了因寺 同朋の会、了因寺 吉岡 康裕、渡辺 ウメ子、渡邊 栄子、渡辺 久美子、

皆様からの御寄附、心より感謝申し上げます

# 今後の活動について

東日本大震災から十年、熊本地震から五年が経過しました。

これまでの自然災害において被災され、仮設住宅や災害公益住宅で生活されておられる皆様へ、この状況が収束しましたら、活動を再開致します。

新型コロナウイルス感染症と、それに関連する諸問題が猛威を振るう状況下ですが、被災地へ物資の輸送など、出来る事をしていきたいと思

います。皆様のご理解、ご支援のほどよろしくお願い致します。

## ご協力をお願い

「NPO法人 ボランティアネット」は、現在も支援活動を続けており、また活動を支えてくださる、「正会員」「賛助会員」を募集しております。また、ご寄付も随時受け付けております。

「ゆうちょ銀行」での寄付を希望される方は、ご連絡ください。ば「振込用紙」を送付いたします。

「銀行振り込み」の場合は、左記の口座への振り込みをお願い致します。

## 編集後記

「不要・不急の外出・行動を自粛するということ、自分にとって必要・不急なことは何かと問われている」

これは昨年、ある方の講話の中に出てきた言葉でした。

コロナ禍の自粛続きに疲れる私にとって、大きな視点の転換となった言葉でした。

自分にとっての必要・不急とはなにか。

この問いは コロナ禍中を超えて通じる問いではないでしょうか。

(文責・大内崇久)



東日本大震災 犠牲者 御芳名

みずほ銀行 古河支店 (279)  
普通 1253546  
口座名:

特定非営利活動法人

災害ボランティアネット